

令和4年度ジャパンリンクセンター運営計画

令和4年4月1日

ジャパンリンクセンター運営委員会

1. 委員会、メンバーミーティングの実施

(1) ジャパンリンクセンター運営委員会

ジャパンリンクセンター運営委員会を4回開催し、JaLCの運営方針を議論する。

(2) メンバーミーティング

メンバーミーティングを開催することで、会員からのニーズを把握できる機会を引き続き設ける。

2. サービスの開発、運用および管理

(1) サービスの開発

令和4年度は以下について実施する。

- ・ 情報登録機能の改善、改修等

JaLCシステムにおける既知の不具合の改修の他、会員から要望のあった機能改修等を実施することで、JaLCのサービス向上を目指す。

- ・ データクレンジング

令和3年度に引き続き、令和元年度に実施した調査結果に基づいたデータクレンジングを行うとともに、新たに確認されたデータ不備の調査を行うことで、JaLCが保有するデータの品質、精度向上を図る。

- ・ REST APIの改良検討・活用拡大

REST APIについて連携先を拡大する。

- OpenCitationsと連携し、JaLCのデータに基づくCitationツール(JOCI)の開発・リリースに向けて調整を続ける。
- CHORUSとの連携について引き続き検討を進める。

上記の連携検討中の機関・サービスに加え、国内外のサービスに向けてJaLCデータおよびJaLC REST APIの利活用促進のための広報活動・打診・調整等を行う。また、利用状況に鑑み令和5年度以降の機能拡充の検討を行う。

- ・ JaLCデータダンプファイルの拡充

JaLC から提供する JaLC データのダンプファイルについて、引用情報等を含むより充実した内容のデータを提供できるよう開発を行う。

(2) 運用

システム運用、サービス運用業務の一部は、過年度に引き続き外部に委託して実施する。

3. DOI 登録機関業務

(1) 正会員

過年度に引き続き、正会員の入会対応を行う。具体的には、入会手続き説明、入会審査事務、DOI prefix の払い出し、システムの初期設定、データ初期登録方法の案内などである。また、第三者への抄録提供開始へ向けて抄録登録及び抄録ライセンスフラグの許諾設定促進を行う。併せて、登録マニュアルの改善や Web サイトにおける FAQ の充実、入会手続きのフロー改善等も検討する。

(2) 準会員

正会員を通じて、準会員に対する DOI prefix の払い出しに係る事務を行う。また、準会員を持つ正会員と協働して、準会員の増加も図る。

(3) 入会説明会の開催

入会の問い合わせの都度説明会を開催する。

4. その他、JaLC の運営に関する一切の事務

(1) 「研究データ利活用協議会」

「研究データ利活用協議会」の活動は7年目となる。今年度も過年度に引き続きイベント開催などによるコミュニティ醸成を図る。また、小委員会活動、部会活動の支援を継続する。事務局としての支援に加え、業務の分散について検討する。さらにオープンサイエンス関係のイベントである「ジャパンオープンサイエンスサミット (JOSS)」へ引き続き協力機関として参加する。

(2) JaLC イベント

「対話・共創の場」について、より有意義な対話・議論が行える場として活用すべく今後の開催イベントの目的・開催方法について新たに検討する。

(3) 「ジャパンリンクセンター戦略2023-2028」の策定

令和4年度で終了するジャパンリンクセンターストラテジーについて、次期5カ年におけるストラテジーを策定する。策定に当たっては関連機関に対する意見照会等を実施し、様々な分野・立場からの意見を取り入れる。

(4) メールマガジン「JaLC NEWS」の発行

月1回の会員向けメールマガジン「JaLC NEWS」の発行を通して、サービスリリース情報や規約についての連絡、国内外のDOIに関わる情報発信など、会員に対する必要な情報提供を行う。

(5) 国際機関との関わり

DOI登録機関としてDOI財団の活動に関わる。また、Crossref、DataCite等のDOI登録機関(RA)や、ORCIDなどの他PID組織との連携強化を図る(連携サービスの模索、動向調査、他PIDの登録促進や連携サービス(ORCID連携機能、Citation Formatter等)の利用促進等)。

— 以 上 —